

箕面ユネスコ協会 ニュースレター

発行 公益社団法人日本ユネスコ協会連盟
箕面ユネスコ協会事務局
〒562-0013 箕面市坊島4-5-20
みのおキューズモール2Fみのお市民活動
センター内 箕面1初協協会（メルブックス）
E-mail sakappmm@skyblue.ocn.ne.jp



- ◆ 目次 ◆
○ 活動報告
○ お知らせ

♪ ホームページ折々に更新中！
「箕面ユネスコ協会」
で検索してください♡

● 災害支援 岡山県倉敷市真備町でのボランティアに参加して

平成30年9月23日（日）（箕面市教職員組合 宮本 泰治さんからの寄稿）

9月23日（日）に箕面ユネスコ協会の皆さんと、真備町への災害支援ボランティアに参加させていただきました。当日の様子を紹介させていただきます。大阪に住んでいる自分は、7月に発生した岡山県倉敷市真備町での豪雨による災害を、テレビや新聞、インターネットで知りました。住宅に水が流れ込んでいる映像や写真を見ながら、何か自分にできることはないのかとモヤモヤしていました。所属する組合に相談したところ、箕面ユネスコ協会が災害支援ボランティアを企画しており、一緒に参加することができるということで、今回参加させてもらうことになりました。



吉備 SA で集合写真



そのままにされている家の様子

当日は、朝6時にらいとぴあ21の駐車場に集合しました。ユネスコ協会の方や自分たち学校教職員の他にも、箕面市の高校生や大学生、暮らしづくりネットワーク北芝の方など、約30名の参加でした。自分が受けもったことのある小学校の卒業生も参加しており、普段の



はがされた床の下にある土砂を撤去しました

生活ではなかなか関わることのできない人たちとの出会いにとってもわくわくしながら箕面を出発し、真備町へ向かいました。高速道路に乗り、3時間ほどで目的地に着きました。到着すると、真備町を拠点に長期で災害支援をしている「め組 JAPAN」の方と合流し、作業をする現場へ向かいました。道中では豪雨の被害がそのまま残っている住宅もあり、2ヶ月以上経っている今でも、どれほどの水が流れ込んできたのが想像できるほどでした。

作業させてもらった現場は、昔ながらのお屋敷のようなお宅でした。床下まで土砂や下水が流れ込んでいました。床をはがした後に、汚水の混ざった土砂や、流された瓦を砕いて土嚢袋に入れて運び作業をしました。この日は、この家の人々が2人いましたが、いつもはお母さん1人で片付けをしているとのことでした。ボランティアスタッフが入らず、家族だけで作業をすればどれほどの時間がかかるのだろうと思うほど、まだまだ災害で受けた被害がそのままにされていることを目の当たりにしました。15名ほどで約4時間作業を行い、軽トラック10台ほどのごみを撤去しました。



軽トラック10台分のゴミや土砂が出ました

作業が終わった後、別のお宅で作業をしていたグループに合流し、残っている作業を手伝いました。こちらのお宅も先のお宅と同じ被害状況で、床下の土砂の撤去を行っていました。また、浸水した部分を完全に乾かさないと補修工事ができないそうで、家を乾かすために壁をはがす作業を行っていました。こちらは30名ほどで一日作業をしてもまだまだ終わりが見えないという状況でした。

そんなこんなであっという間に終了の時刻が来てしまいました。見渡すと、自分も周りの人もみんな汗だくの服になっていました。また頭はたくさんのホコリをかぶっており、鼻の中はホコリやススを吸って真っ黒になっていました。しかし、そんな状態ではあったものの、不思議とあまり疲れを感じていない自分に気がつきました。

作業後、グループのリーダーをしてくれた「め組 JAPAN」のスタッフの方が、「被害を受けた家に支援に入る初日、家の人々はあまりの被害状況に、大抵の人は顔が下を向いて、とても暗い表情をしている。それが1ヶ月間一緒に家の片付けの手伝いをさせてもらい、どんどん片付いて綺麗になっていくと、それに比例するかのようになり、顔が上がり、表情にも笑顔が表れるようになってくる。自分たちがやっていることがこの表情につながっているのだと実感する場面があるんだ。自分は誰に頼まれたわけでもないし、自分がやりたいから今真備に入って活動をしている。」という話をしてくれました。

私が真備町の災害支援に関わったのはたった1日でしたが、そんな短い時間でも、このスタッフの方が感じていることの何分の1のことは感じられたのかなと思いました。「災害支援ボランティアは、流した汗の分だけ自分に返ってくる何かがある。だからこそ自分ができる行動にこれからもこだわっていきたい。」そんなことを感じさせてもらった貴重な1日になりました。最後のふりかえりで、一緒に参加した仲間たちも同じこ

とを感じていることが分かり、嬉しかったです。1日も早く災害の被害に遭われた方が元どおりの生活に戻れるよう、今後も自分ができることは何かを考え、行動にうつしていきたいです。そして、学校教育の現場で働い



ている自分が、今回感じたことを一人でも多くの子どもたちや、保護者、同僚の教職員や組合の仲間伝えていきたいと思いました。

(箕面市立萱野小学校 宮本 泰治)

●アサンブション国際高等学校 2年生●

探求科～行動している人の話を聞こう～

9月3日、支援活動を通じた学びについて、伝えさせていただきました。

会場には、SDGs（Sustainable Development Goals:持続可能な開発目標）の17アイコンカードが掲げられ、よりよい社会づくりへの意識を大切に、種々の学びを進められていることが伝わってきました。

被災地での活動の様子、ボランティア活動を続ける思い、世界にある識字課題の現実、わたしたちに何ができるかの問いかけ等の話に、生徒のみなさんは熱心に聞き入ってくださいました。本物に触れること（実体験）で心を揺さぶられ深い学びが育まれること、そこから新たな行動（出会い）が生まれ自分の中にも本物の価値あるものが形作られていくこと……。坂口さんの言葉は、探求科で学ばれていることに重なっていくようでした。



生徒のみなさんの感想から……

- ・東日本大震災や熊本地震のことなど、ニュースで見っていたことが、実体験として話され、とても身近に感じました。
- ・震災が起こってすぐに行動を起こしている高校生がいるのがすごいと思いました。自分も、何かで行動できるようになりたいと思いました。

その後、真備へのボランティア活動に参加してくださった生徒さんたちもおられます。この出会いから新たな行動が生まれています。

●箕面市立南小学校 6年生●

～伝える・つながる・創る「防災」～

10月3日には、大阪市立鶴見橋中学校2年生の生徒たちとともに、南小を訪れました。鶴見橋中の教育目標は『「いのち」の学校への飛翔!』。被災地とつながり、地域でできる人権防災教育を多様に進められています。



—生徒さんたちの言葉より—

- ・ボランティアをすることは「してあげる…」ではなかった。ぼくらは時間を提供する、すると、ぼくらは生きる意味を教えてもらえることができた……

・別れはいつやってくるかもしれない。今、伝えたいことを伝えよう。大切に思っている気持ちを伝えよう。諍いがあるなら、「ごめんね」「ゆるしてね」と言える勇気をもとう……

- ・ひまわり（阪神淡路大震災、東日本大震災の地からつなが

った種）を大切に育てることで、他の学校にも、被災地を忘れず一人ひとりの命を大切にすることを届けたい……

—6年生の感想より—

- ・みんなの前で、思っていることを話す鶴見橋中の人はすごいと思いました……
- ・伝えたいのに伝えられなくなった人がたくさんいることが分かった。私も、自分の気持ちをきちんと伝えていきたいと思いました……



積極的に聞いた6年生、一生懸命語り答えた中学生。子どもたちの力で素晴らしい時間になりました。

子どもたち、そして先生方、ありがとうございました！

（大濱 淳子）

● 募集 豪雨災害ボランティアツアー（岡山県倉敷市真備町）

西日本豪雨で被害にあわれた皆様に、心よりお見舞い申し上げます。

2011年（平成23年）3月11日に発生した東日本大震災以来、箕面ユネスコ協会では青少年による被災地ボランティア活動をとおり、復興の状況を知ることや、被災にあった方と出会うことで、生きること、命の大切さ考える機会の設定、「被災地を忘れない」ための活動を続けてきました。一方で、九州北部豪雨や熊本地震で大きな被害を受けた地域の支援活動も行ってきましたが、この度、西日本豪雨災害を受けた岡山県倉敷市真備町でのボランティアを9月13日、9月23日、9月26日、と実施しました。継続的なボランティア活動を行うために下記日程でボランティアツアーを実施いたします。

多くの皆さまの参加をお待ちしています。

■催行日： 2018年11月4日（日）日帰り・ 2018年12月23日（日）日帰り

■参加費（往復交通費等）3,000円程度 ボランティア保険加入手続きは要相談500円程度

■企画：公益社団法人日本ユネスコ協会連盟 箕面ユネスコ協会

**** 募集要項、申込書方法については箕面ユネスコ協会ホームページをご覧ください！****

お知らせ！今後の予定

●かやのお宝人權まつり

2018年10月20日土曜日 10:00～16:00 らいとびあ21 今回のテーマは「ゆるスポーツ大会」
昨年に引き続き、出店コーナーで箕面ユネスコ協会は「さんま祭り」を行います。



●15回目となる「みのおNPOフェスタ2018」

2018年10月28日日曜日時間： 10:00～16:00 みのお市民活動センター、
箕面ユネスコ協会では、「3.11を忘れないチャリティー物産展」を行います。



★ぜひご覧ください★子どもたちを学校へ

気軽に参加できる、「タンス遺産ダンス」のムービー編 「遺産を募金」に

<http://www.unesco.or.jp/terakoya/kakisonji/>
書きそんじハガキ、未使用切手、プリペイドカードの3兄弟が、かわいいダンスと歌でご家庭に眠った「遺産」について呼びかけています！